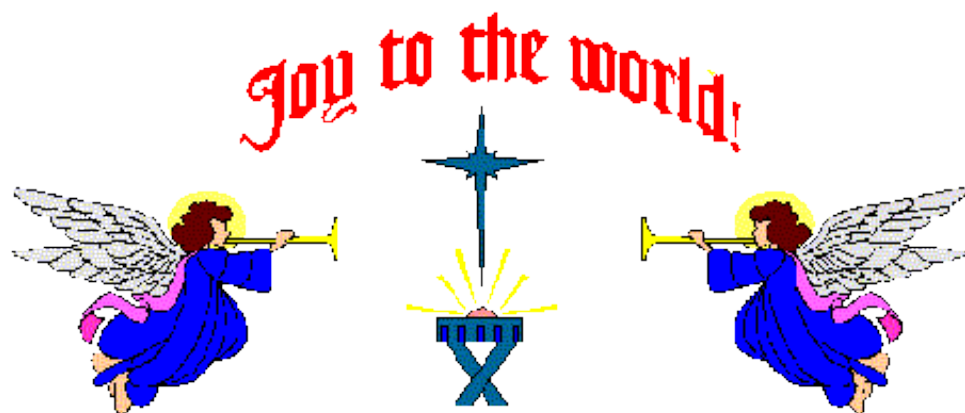


# 江刺保育園

# 聖誕劇

Christmas Pageant



2019年





# Christmas Pageant



## 聖誕劇

### 登場人物

マリヤ		ひつじかい 1	
ヨセフ		ひつじかい 2	
		ひつじかい 3	
てんし 1		ひつじかい 4	
てんし 2			
てんし 3			
てんし 4			
てんし 5		やどや 1	
てんし 6		やどや 2	
かたりて 1			
かたりて 2		はかせ 1	
ピアノ 1		はかせ 2	
ピアノ 2		はかせ 3	
ピアノ 3			



©こどもイラスト



©こどもイラスト




©こどもイラスト



©こどもイラスト



第1場面

<p>かたりて 1</p> <p>かたりて 2</p>	<p>はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。 言葉の内に命があった。命は人間を照らす光であった。</p> <p>(一呼吸してから)</p> <p>わたしたち「すみれ組」が演じるこの物語は、聖書に書かれている、イエス様のお誕生の出来事を劇にしたものです。</p> <p>今から 2019年前、イスラエルのナザレという村にマリヤさんという女の人がありました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚の約束をしていました。しかし、とつぜん、マリヤさんの前に、おおぜいの天使が、現れたのです。</p>	
<p>てんし 1</p>	<p>マリヤよ、おめでとう。</p>	
<p>てんし 2</p>	<p>あなたに、かみさまの、おことばをつたえます。</p>	
<p>てんし 3</p>	<p>あなたは、もうすぐおとこのこをうむでしょう。</p>	
<p>マリヤ</p>	<p>そのようなことはゆるされないことです。わたしにはけっこんをやくそくした、たいせつなひとがいるのです。</p>	
<p>くびを横に振り、戸惑いながら</p>		
<p>てんし 4</p>	<p>うまれてくるあかちゃんは、かみさまのこどもです。</p>	
<p>てんし 5</p>	<p>ヨセフはすべてをうけいれています。</p>	
<p>てんし 6</p>	<p>なにもしんぱいすることはありません。</p>	
<p>マリヤ</p>	<p>いったい、わたしはなにをすればいいのでしょうか。ヨセフはわたしをゆるしてくれるのでしょうか。</p>	
<p>てんし 1</p>	<p>すべてをかみさまにまかせなさい。うまれるこどものなまえをイエスとなづけなさい。</p>	
<p>すこし、考えて(間を置く) 立ち上がり、会衆に向かってゆっくり礼をして話す。</p>		
<p>マリヤ</p>	<p>はい、わかりました。 かみさまにすべてをおまかせします。 かみさまの、おかんがえのとおりにしてください。</p>	

天使・・・一回りして退場

幕



## 第2場面

かたりて1	<p>そのころ、ユダヤの国では、じぶんの生まれた所に行き、名前を登録しなさいという王様の命令があり、その国の人たちは、生まれたところに行かなければなりませんでした。マリヤさんとヨセフさんも旅をしていました。そして、ベツレヘムという町に着きました。</p>
かたりて2	<p>あたりはすっかりくらくらしていました。宿屋はどこも旅人でいっぱいでした。マリヤさんは天使のお告げのとおり、もうすぐ赤ちゃんが生まれそうになっていたのです。</p>
マリヤ	まあ、たくさんのひとたちですね。
ヨセフ	とおくの、まちやむらからきたんだね。
マリヤ	こんや、とまるところがあるでしょうか。
ヨセフ	しんぱいしないで。どこかやどをさがしますから。

### 手をつなぎ、幕の外にでる

ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや1	はい、どなたですか。
ヨセフ	こんやひとばん、とめてください。
やどや1	たびびとでいっぱいです。べつのやどやにきいてください。
ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや2	はい、どなたですか。
ヨセフ	もうすぐこどもがうまれそうなのです。こんやひとばん、どこでもいいですからとめていただけませんか。
やどや2	それはたいへんそうですね。うまごやでもよければ、どうぞあがってください。
ヨセフ	たすかります。ありがとうございます。
やどや2	こっちは、ついてきてください。

### 幕

賛美歌 「おとまりください」 ピアノ1



第3場面

かたりて1	そのころ、ベツレヘムの町外れにある山の草原では、羊飼いたちが、夜も寝ないで羊の番をしていました。	
羊飼い全員たき火をかこみ座っている。		
ひつじかい1	しずかな、よるだなあ。	
ひつじかい2	くらい、よるだなあ。	
ひつじかい3	さむい、よるだなあ。	
ひつじかい4	こんなよるにはたらいているのは、おれたちだけだ。	
ひつじかい1	こんやは、なにかがおこりそうだなあ。	
羊飼い1立ち上がり、指差して言う		
ひつじかい2	あっ！ あれはなんだ。	
ひつじかい3	なにかひかるものがだんだんこっちにおかってくる。	
ひつじかい4	さあ、みんなにげよう。	
羊飼い全員立ち上がる。横1列に並ぶ		
<b>天使登場</b> 1列に並ぶ。セリフを言う天使は手を上げ1歩前に入る。セリフを言ったら元の位置に戻る。		
てんし1	ひつじかいたち、こわがることはありません。	星を掲げ1歩前に入る。
てんし2	ダビデのまちベツレヘムに、ひとりのおとこのこがおうまれになりました。	星を掲げ1歩前に入る。
ひつじかい1	ダビデのまちベツレヘムに	1歩前に入る
<b>天使全員、羊飼いを指さして</b>		
てんし(みんな)	あなたがたのために	揃えて
ひつじかい2	みんなのために。	1歩前に入る
てんし3	おおくのひとたちが、まちのぞんでいたこどもです。	星を掲げ1歩前に入る
てんし4	すくいぬしイエス・キリストがうまれました。	星を掲げ1歩前に入る
ひつじかい3	キリストがうまれた。？	1歩前に入る
てんし5	あのがやく、おおきなほしをめざしてゆきなさい。	星を掲げ1歩前に入る
ひつじかい4	すくいぬしが、うまれたんですね。	1歩前に入る
てんし6	そのこは、うまごやのなかでねむっています。	星を掲げ1歩前に入る
ひつじかい1	どうして、そんなところでうまれたのですか。	1歩前に入る
てんし1	ひとびとが、かみさまのころをしるために。	星を掲げ1歩前に入る
てんし2	ひとびとが、あいしあっているために。	星を掲げ1歩前に入る
てんし3	このよが、へいわになるために。	星を掲げ1歩前に入る
てんし4	ひとびとがきぼうをもち、しあわせになるために。	星を掲げ1歩前に入る
てんし5	イエス・キリストがうまれたのです。	星を掲げ1歩前に入る
てんし6	イエス・キリストがうまれたところにゆき、みんなでお祝いしましょう。	星を掲げ1歩前に入る
ひつじかい2	わたしたちのために、すくいぬしイエス・キリストがおうまれになったのだ。	1歩前に入る
ひつじかい3	さあ、みんなで、おいわいにいこう。	1歩前に入る
ひつじかい(みんな)	さあ、いこう。	その場で

賛美歌 「そらには、てんしの…」 ピアノ2

歌い終わったら…天使、一回りして退場。その後、羊飼い退場

幕



第4場面

かたりて	そのころ、 <sup>ひがし</sup> 東の <sup>くに</sup> 国の <sup>はかせ</sup> 博士たち <sup>さんにん</sup> 三人が <sup>はな</sup> 話し合 <sup>あ</sup> っていました。	
	博士1は机の前に立って空を見ている。 博士2、博士3は奥にある椅子に座っている。	
はかせ1	せんせいがた、ちょっとここへきてごらんなさい。 ふしぎなものがみえますよ。	
	博士たちが集まる。	
はかせ2	なんですか、いったい。	
はかせ3	どうしたのですか。	
はかせ1	ええ、ほら、あそこをごらんなさい。	星を指さす
はかせ2	かがやいているおおきなほしがみえます。	
はかせ3	なにかのしらせでしょうか。	
はかせ1	わたしは、あんなにひかっているおおきなほしをみたことがありません。	
はかせ2	あんなにおおきなほしが、きゅうにあらわれるなんて。	
はかせ3	さっそく、しらべてみましょう。	
	博士全員、聖書をめくって調べる。	
はかせ1	これだ、たしかにこれにちがいない。	
はかせ2	なにがかいてあるのですか。 あのほしは、なにをおしえているのですか。	
はかせ3	「すくいぬしキリストが、おおきなひかりのもとにうまれる」とかいてあります。	
はかせ1	あのほしがわたしたちを、 すくいぬしのところへみちびいているのですね。	
はかせ (みんな)	さあ、あのほしをめざして、 すくいぬしにあいにいきましょう。	全員指さす

賛美歌 ピアノ3

1番を歌い、2番に入ったらひとまわりして、退場。

幕



第5場面

かたりて	ここは、ベツレヘムの馬小屋です。 うまれたばかりのイエス様が飼葉桶のなかで眠っています。	
ヨセフ	マリヤ、なんてかわいいあかちゃんだろうね。	
マリヤ	ええ、ほんとうに	
ヨセフ	でも、なんてみすぼらしいところで、うまれたんだろう。 なんという、みじめなゆりかごだろう。	
マリヤ	ほんとうに。 でも、ごらんささい。このこは、とてもやさしい、 おだやかなかおをしていますよ。	抱き上げるゆ っくりとおお きな声で
ヨセフ	なまえはてんしのおつげのとおり、イエスとなづけよう。	
マリヤ	イエス、あなたはこれからどんなにけわしいみちを すすむのでしょうか。 かみさま、このこが、ひとびとのこころに、しんこうと、 きぼうと、あいをあたえることができますように。 こころからおいのりします。	ゆっくりと おおきな声 で
天使登場、羊飼い登場(お祈りしてから並ぶ)、博士登場(お祈りしてから並ぶ) いそがない。ひざをついて頭を下げる。		
かたりて1	こうして大きな星に導かれて、羊飼いたちと、遠い東の国からやってきた 博士たちは、ベツレヘムの馬小屋でおさないイエスさまにあうことができま した。三人の博士たちがそれぞれ持ってきたものは黄金、乳香、そして死 んだ人の体につける薬、没薬でした。	
かたりて2	このイエス様が、私たちに神様を信じ、そして愛し合って生きることを、 おしえてくださったのです。 イエス様は、いつまでも私たちと一緒にいるのです。	

語り手、ステージにあがる。

はかせ (みんな)	せかいがへいわになるように。
てんし (みんな)	かみさまのしゆくふくで、せかいじゅうがみたされるように。
ひつじかい (みんな)	せかいじゅうのひとびとが、しあわせになるように。
マリヤと ヨセフ	わたしたしが「ひとにあいされ、ひとをあいする」ことができるように。
かたりて1 かたりて2	さあみなさん、こころをこめてクリスマスのさんびか 「きよしこのよる」をうたいましょう。

賛美歌 「きよしこのよる」

ギター 園長

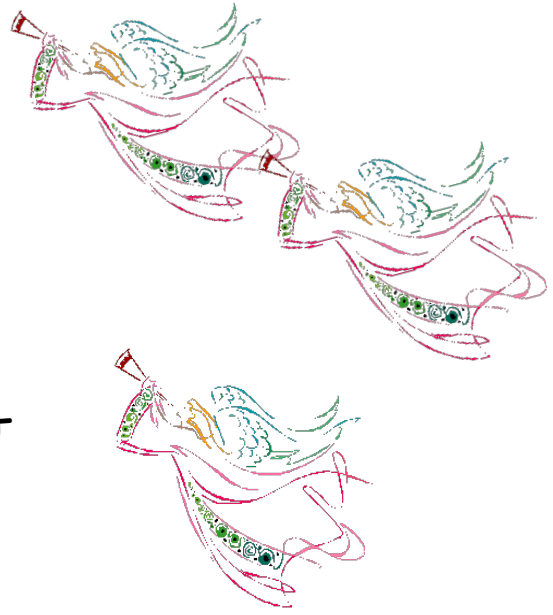
歌い終わったら、退場する。(語り手→天使→博士→羊飼い→マリヤとヨセフ)





## おとまりください

1. おとまりください ヨセフさん  
おやすみください マリアさん  
きれいなおへやじゃないけれど  
かみさまがまもっておられます
2. せかいのみんなが まっていた  
おさなごイエスさま うまれます  
ほしのひかったふゆのよる  
ユダヤのちいさなうまごやで



## 「そらにはてんしの」

1. そらにはてんしの うたごえひびく  
すくいのみかみは ダビデのむらに
2. てんしのさんびは きよらにひびく  
みかみにみさかえ ひとにはへいわ



## 「おほしがひかる」

1. おほしがひかる ぴかぴか ふしぎにあかく ぴかぴか  
なにがなにがあるのか おほしがひかる ぴかぴか
2. らくだがとおる かほかほ さばくのはらを かほかほ  
どこへどこへいくのか らくだがとおる かほかほ
3. おほしがひかる ぴかぴか らくだがとおる かほかほ  
そうだそうだこよいは めでたいきよい よるだよ



「きよしこのよる」

1. きよしこのよる ほしはひかり  
すくいのみこは まぶねのなかに  
ねむりたもう いとやすく
2. きよしこのよる みこのえみに  
めぐみのみよの あしたのひかり  
かがやけり ほがらかに





社会福祉法人 江刺保育園

2019年度版 聖誕劇シナリオ